

2019年度

(第55期)

事業計画書

収支予算書

自 2019年 1月 1日

至 2019年12月31日

公益財団法人 国立京都国際会館

## 目次

1. 2019 年度事業計画 . . . P 1 - P 12
2. 2019 年度収支予算書等 . . . P 13 - P 19

2019年度

(第55期)

事業計画書

自 2019年 1月 1日

至 2019年12月31日

## 総論

国立京都国際会館は1966年のオープン以来、多数の国内、国際会議開催の場となることを通して、社会への貢献を果たしてきた。

しかし当館を取り巻く環境は、アジア諸国をはじめとする海外都市との激しい誘致競争、2020年に向けた国内各地の競合施設の新設・増床計画による都市間誘致競争の激化など、よりいっそう厳しいものとなっている。さらに、本館が築52年を超える等、施設の経年変化によって、施設の修繕、改修等の費用の増加は避けられず、またニューホールが開業したことによる固定費及び維持費の増額も、恒常的な支出の増加につながる。

こうした状況の下にあって、当会館が今後ともその役割を十分に果たしていくためには、厳しい環境の中にあっても使用料収入を増加させ、事業収益の向上と安定化を図ることが、喫緊かつ最大の課題である。

2019年度事業計画においては、この課題に取り組むために4つの柱を立てた。

一つには、職員が共通の目標に向かってそれぞれの立場で最善のパフォーマンスを行うことによって、組織としての事業推進力を向上させる取組である。

二つには、目標とする数値と誘致対象を明確にした、戦略的な営業対策を講じることである。

三つには、調達制度を改善することによって、コストパフォーマンスを一層配慮しつつ、持続可能な施設運営と管理の体制を構築することである。

最後に、近年求められる危機管理について、人員配置と設備の両面から強化を図ることにより、顧客の信頼を獲得することである。

これら4つの柱に沿った取組により、これからの50年、我が国はもとより、世界の中でも大きな存在であるこの国立京都国際会館を安定的且つ最良のサービスをもって維持し、当館の社会的責任を果たしていきたい。

## (1) 新たな事業推進力の構築と組織力の向上

### <背景>

地域間の競争が激しい中、社会の変化のスピードは大きい上に、顧客から求められるニーズは多様化してきている。それらに対応するためには、職員が共通の理念と目標を有し、職員が一致団結して取り組むなど組織力の向上が課題である。

### <取組方針と具体的対策1>

職員が理念と目標を共有し、連携の取れた事業推進に取り組むことによって、今後50年間持続できる安定した経営基盤と組織力の確立を目指す。

このため、中堅・若手職員を中心とする「営業改革推進本部」(2018年9月立ち上げ)の活動を通じて、職員一人ひとりの意識改革と組織としての事業推進力の向上を進める。

#### ① 2018年12月中に営業改革推進本部からの提言を取りまとめる。

この提言では、職員全員に共通する理念と目標を設定し、具体的な取組についても提示する予定である。

#### ② 職員間の議論を深め、組織としての共有の認識とする。

提言で示された課題や取組を具体的な成果とするための検討を進めるとともに、その成果を検証し次の取組へと繋げていく。

### <取組方針と具体的対策2>

段階を追って、職員一人ひとりが具体的な目標が持てるよう、職員の成長モデルを体系的に示し、目標の到達を支援する時宜を得た以下の研修を実施する。

#### ① 階層別研修(新入職員研修、若年・中堅職員研修、管理者研修)

#### ② 業界に関する知識の習得、業務スキルに直結する研修

#### ③ テーマを決めた一般教養研修

## (2) 戦略的営業の展開による使用料収入と事業収益の向上・安定化

### <背景>

年による会場稼働のばらつきに起因して、使用料収入及び事業収益に好・不調の波がみられること、並びに、増加する施設の維持修繕費用に充てるため、その安定化と増収を図らなければならない。

### <取組方針と具体的対策>

顧客から選ばれる会議場として、機能とサービスの継続的な改善により、顧客満足度を向上させる。そのための投資原資を確保し、持続的成長に繋げる。

ニューホールの竣工によって空間構成とコンセプトの異なる4ホール体制が整った。これを機に、当館の魅力を再構築し数値目標と対象顧客を明確にした戦略的営業を展開する。

- ① 対象顧客毎の目標数値の導入、先行収入予測の精緻化
  - a 当館のブランディングに繋がるような国際会議の誘致
  - b 収入の取扱比率が全分野の催事の内、50%を超える「医学会」分野を対象とした先行営業
  - c ニューホールを活用するビジネスイベント等、企業を対象とする新規マーケットの開拓
  
- ② ニューホール開業を機とする、新たな成長領域での展開と課題の解決
  - a 「えらべるケータリングサービス」の運用定着化  
※「えらべるケータリングサービス」とは、お客様が選択できる食事提供サービスであり、ニューホールとイベントホールでの開催催事の際、ケータリング提供会社5社<sup>注1</sup>からお客様がお好みの会社を選択できるサービスである。
  
  - b ニューホールとイベントホールの連携をはじめ、4つのホールと広大な庭園の組み合わせによる魅力的な利用形態を構築し、顧客に提案する。
  
- ③ 競合施設との差別化を明確に打ち出し、ブランド力強化による認知度の向上
  - a 視覚に訴えた映像等を多用したプロモーションの展開
  - b 顧客が求める情報がわかりやすく掲載されたウェブサイトの運営
  - c 内外の見本市や展示会等でプロモーションの機会を増加

---

注1 京都ホテルオークラ、ハイアットリージェンシー京都、京都東急ホテル、グランドプリンスホテル京都、ICCKyoto ケータリングサービス（国立京都国際会館食堂）

④顧客とのコミュニケーションの更なる強化

2018年10月に実施して効果を上げた「ニューホール体験会」を発展させ、「情報交換会（仮称）」への開催へと繋げる

⑤開催が決定した催事の準備及び誘致中会議の決定に向けての取組

※別紙参照

2019年度開催件数は、国際会議25件、国内会議115件、合計140件の見込。

資料1

主要な国際会議一覧（2019年度）

資料2

主要な国内会議一覧（2019年度）

資料3

2019年度に開催される特に重要な会議

2019年度中に開催決定が見込まれる主要な大型国際会議の誘致状況

2019年度中に開催決定が見込まれる主要な大型国内会議の誘致状況

### (3) 持続可能な施設運営・管理体制

#### <背景>

当館は開館52年の歴史ある国立の国際会議場であるが、建物や機械設備は国予算の厳しい状況などから改修、更新が十分に進んでいない。また、催事運営に関わる設備についても最新のニーズに必ずしも応えられていない。

さらに経費の低減化や、より質の高い業務の遂行を図るため、施設の修繕、改修工事、新たな設備、物品等の調達や施設の維持管理等に関する年間業務委託会社の選考及び、装飾、映像業務等の協力会社の選定について、より競争性、公平性を高める必要がある。

#### <取組方針と具体的対策1>

中長期保全計画等に基づき、計画的な改修や利用者のニーズに合った設備の導入を進め、長期にわたって持続可能な施設運営、管理体制を整える。

- ① 現状の改修・補修リストに基づく具体的な保全計画の策定と、計画的な施設機能の維持・機能向上
  - a 具体的な中期整備計画の早急な策定
  - b 国に対する積極的な予算要望の実施
  - c 財団の予算も活用した計画的な施設機能の維持、補修と機能向上
- ② 催事利用者の利便性を高めるとともに、収益増加に繋がる機材、備品の導入計画を策定し、これに基づいた整備を進める

#### <取組方針と具体的対策2>

発注する物品やサービスの調達及び年間委託業者・協力会社の選定において、より公平性、透明性を高める等、選定契約手続きの見直しを一層推進する。

- ① 入札方式等（プロポーザル制度を含む）を原則とする調達規程の改定
- ② 施設の修繕や改修、物品調達について、品質の向上とコストを抑えるための、担当職員のスキルアップによる、競争性の確保による適正で効率的な発注
- ③ 施設の維持管理等に係る年間業務委託契約について、プロポーザル制度による選考の実施
- ④ 装飾、映像業務等の協力会社の登録について、公募による選定審査制度の導入



## (4) 危機対応とセキュリティの強化

### <背景>

2018年には、自然災害により、施設の破損・損害の発生や、催事開催がキャンセルになる等の事態が発生した。その際には通常の組織体制や業務の範囲を超えた対応が求められた。また近年は国際的にテロ対策強化の必要性が増し、高いセキュリティレベルが求められている。そのため、柔軟な対応が出来るための体制の整備と、安全の確保への投資が必要となっている。

### <取組方針と具体的対策1>

災害等の非常時においても、臨機応変な勤務体制を取ることで、顧客に十分なサービス提供を行う。

- ① 事案の危機レベルに対応した職員体制の整備
- ② 災害発生等に備えるため、職員による緊急時対応訓練や点検の定期的な実施

### <取組方針と具体的対策2>

カメラやセンサーを整備し、敷地内のセキュリティを強化する。

- ① 防犯カメラを39台から85台に増設
- ② 不審者の侵入に備えた新たなセンサーの設置

# 【別紙】

資料 1 主要な国際会議一覧 (2019 年度)

催 事 名	期 間	予定参加人数
公益社団法人日本青年会議所 2019 年度 京都会議	1 月 17 日～1 月 20 日	14,000 名
第 10 回「KYOTO 地球環境の殿堂」表彰式	2 月 9 日～2 月 9 日	1,000 名
第 46 回日本集中治療学会学術集会	3 月 1 日～3 月 3 日	7,000 名
第 63 回日本リウマチ学会総会・学術集会	4 月 15 日～4 月 17 日	6,000 名
国連気候変動に関する政府間パネル (IPCC) 第 49 回総会	5 月 8 日～5 月 12 日	500 名
WONCA Asia Pacific Regional Conference 2019	5 月 15 日～5 月 18 日	6,000 名
第 5 回国際世界パーキンソン病学会	6 月 4 日～6 月 7 日	3,200 名
第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会	7 月 18 日～7 月 20 日	6,000 名
第 39 回ダイオキシン国際会議	8 月 26 日～8 月 30 日	1,000 名
第 25 回 ICOM(国際博物館会議) 京都大会 2019	9 月 1 日～9 月 7 日	3,000 名
日本心臓血管麻酔学会 第 24 回学術大会	9 月 20 日～9 月 22 日	1,200 名
第 78 回日本癌学会学術総会	9 月 26 日～9 月 28 日	6,000 名
シリコンカーバイド及び関連材料に関する 国際会議 2019	9 月 29 日～10 月 4 日	700 名
科学技術と人類の未来に関する国際フォー ラム第 16 回年次総会	10 月 6 日～10 月 8 日	1,400 名
第 12 回国際アフェレシス学会学術大会/ 第 40 回日本アフェレシス学会学術大会	10 月 18 日～10 月 20 日	1,100 名
第 73 回日本臨床眼科学会	10 月 24 日～10 月 27 日	6,000 名
第 35 回京都賞授賞式・記念講演会・記念 ワークショップ	11 月 10 日～11 月 12 日	3,000 名
第 60 回電池討論会	11 月 13 日～11 月 15 日	2,500 名

資料2 主要な国内会議一覧（2019年度）

催 事 名	期 間	予定参加人数
第 57 回関西財界セミナー	2 月 7 日～2 月 8 日	750 名
第 5 回全国手をつなぐ育成会連合会 全国大会京都大会	2 月 23 日～2 月 24 日	2,000 名
国際ロータリー第 2650 地区 2019-20 年度地区研修・協議会	4 月 20 日～4 月 20 日	1,300 名
第 12 回宝酒造杯囲碁クラス別チャンピオン戦 京都大会	4 月 20 日～4 月 20 日	1,300 名
国際ソロプチミストアメリカ日本中央リジョン 第 33 回リジョン大会及び 2018 年度分科会	4 月 23 日～4 月 24 日	2,500 名
第 20 回日本認知症ケア学会大会	5 月 25 日～5 月 26 日	5,000 名
フォーサム 2019 京都	7 月 5 日～7 月 7 日	2,000 名
第 51 回日本動脈硬化学会総会・学術集会	7 月 11 日～7 月 12 日	2,000 名
一般社団法人日本看護学教育学会 第 29 回学術集会	8 月 3 日～8 月 4 日	2,500 名
第 21 回日本褥瘡学会学術集会	8 月 23 日～8 月 24 日	5,000 名
第 59 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会	9 月 12 日～9 月 14 日	2,000 名
第 72 回日本胸部外科学会定期学術集会	10 月 31 日～11 月 2 日	4,000 名
第 33 回日本泌尿器内視鏡学会総会	11 月 21 日～11 月 23 日	3,000 名
第 14 回医療の質・安全学会学術集会	11 月 28 日～11 月 30 日	3,000 名

注) 平成 30 年 12 月 11 日現在 公開可の主要催事のみを表示

### 資料 3

#### 2019 年度に開催される特に重要な会議

(1) 催事名：国連気候変動に関する政府間パネル (IPCC) 第 49 回総会

主催者：IPCC (気候変動に関する政府間パネル)

参加人数：500 名

会期：2019 年 5 月

備考：IPCC は国連環境計画と世界気象機関が 1988 年に設立。第 49 回総会では、パリ協定の実施に不可欠である、各国の温暖化効果ガス排出量の算定方法の改良に関する報告書が承認される予定。

(2) 催事名：第 5 回世界パーキンソン病学会

主催者：世界パーキンソン連合

参加人数：3,200 名

会期：2019 年 6 月

備考：運動障害の専門家、内科医、神経科学者、神経科医、看護師、リハビリ専門家、介護者、患者の家族、そしてパーキンソン病患者が一堂に会し、この難病に対する治療法の発見を加速させ、最良の治療事例を発掘することを目的とする。同学会は、カナダのコア PCO\*と会議の準備中。

\*コア PCO とは

国際学会の国際本部と契約して、その学会が主催する国際会議の企画・準備を行う会議運営業者。

(3) 催事名：第 25 回 ICOM(国際博物館会議) 京都大会 2019

主催者：ICOM、ICOM 日本委員会、ICOM 京都大会 2019 組織委員会、  
公益財団法人日本博物館協会、日本学術会議

参加人数：約 3,000 名

会期：2019 年 9 月

備考：「文化をつなぐミュージアムー伝統を未来へー」をテーマに、博物館が伝統的な文化を活かしながら豊かな未来を創造する文化的な拠点として新たな機能を創出し、社会的な役割を果たすために何ができるのか、何をすべきなのかを考える会議であり、日本で初めての開催。

## 2019 年度中に開催決定が見込まれる主要な大型国際会議の誘致状況

催事名：第 4 回「国連世界観光機関/ユネスコ 観光と文化をテーマとした国際会議」

主催者：国連世界観光機関（UNWTO）、国連教育科学文化機関（UNESCO）

参加人数：約 1,000 名（観光・文化大臣、各国政府関係者、国際機関関係者、民間事業者等）

会期：2019 年 12 月 or 2020 年 1 月（予定）

備考：観光と文化の大臣をはじめとする各国の関係者が集結して、貧困の緩和、雇用の創出、自然と文化遺産の保護のために観光と文化の力をいかに活用するかを議論する会議。第 3 回会議は、本年 12 月にイスタンブールで「全ての関係者への恩恵」をテーマに開催。

## 2019 年度中に開催決定が見込まれる主要な大型国内会議の誘致状況

催事名：第 121 回日本皮膚科学会総会

主催者：公益社団法人日本皮膚科学会

参加人数：4,500 名

会期：2022 年 6 月

備考：皮膚科学を専門とする医師及び研究者が一堂に会し、数日にわたり最新の医療技術の紹介や研究発表を行う。毎年 5 月から 6 月の時期に開催される。3 年前の 2019 年 5 月開催の第 118 回日本皮膚科学会総会にて、学会長及び開催地が決定する見込み。

2019年度

(第55期)

収支予算書

自 2019年 1月 1日

至 2019年12月31日

## 2019年度収支予算書について

### 2019年度収支予算等について

#### (1) 経常収支

- ・昨年7月に設置した「緊急営業対策本部」の取組や、ニューホールの稼働に伴い、会場料は前年より増収が予想され、使用料収入合計としては前年度予算に比べ1億円増収の15億5,000万円となる。これにその他収入1億1,000万円を加え、収入合計は16億6,000万円を見込む。(対前年度予算比1億1,920万円増収)
- ・支出は、本格的に稼働するニューホールと会場使用の増加に伴う年間委託費や管理費、光熱水費の増加が見込まれるものの、経費削減の努力により運営費が減少し、前年度予算に比べ微増の15億6,000万円を見込む。(対前年度予算比1,920万円増加)
- ・その結果、経常収支は1億円の黒字を見込む。

#### (2) 正味財産（純資産）

- ・公益事業で得た利益を計画的に支出するため、2018年3月の理事会で承認を得て積立てた特定費用準備資金である「2018年度計画整備事業準備資金」（参考）のうち、2019年度執行予定額5,080万円（イベントホール外裝修繕他）を執行予定。それにより同額の正味財産減少を見込む。

#### 【備考】

2019年3月の理事会において、以下の特定費用準備資金の積立てを行い、その支出を計上した補正予算を作成する予定。

- ① 2018年度決算にて経常利益が出た場合については、これまでと同様に公益事業で得た利益を計画的に支出するために積立てを実施する。
- ② 2018年12月末が執行期限だった「2017年度改修整備準備資金」（2017年3月理事会にて承認）のうち、未執行分（約2,600万円）については、今回の理事会の第3号議案で取崩しの承認を得られれば再積立てを行う。
- ③ 「2018年度計画整備事業準備資金」（2018年3月理事会にて承認）の2018年度執行予定額1億3,230万円のうち、未執行分2,670万円について、繰越して執行する。

(参考)

(単位：千円)

特定費用準備資金	2018年3月 理事会承認	2018年度	2019年度	2020年度
		執行予定額		
2018年度 計画整備事業準備資金	206,600	132,300	50,800	23,500



1. 2019年度 予定貸借対照表 (案)

(単位：千円)

科 目	2019年度予算
<b>I. 資産の部</b>	
1. 流 動 資 産	
現金	3,804
預金	328,600
未収金	183,000
販売物品	100
仮払消費税	0
流動資産合計	515,504
2. 固 定 資 産	
基本財産	
指定正味財産	375,950
一般正味財産	224,050
計	600,000
有形固定資産 (通常運用)	
建物・工作物	100,000
建物附属設備	370,729
工具器具備品	470,611
立木	1,000
茶室建物・付属備品	76,993
茶室備品	3,018
リース資産	18,834
(計)	1,041,185
減価償却累計額	△725,200
計	315,985
有形固定資産 (第一次運用)	
工具器具備品	53,421
減価償却累計額	△ 47,397
計	6,024
有形固定資産 (第二次運用)	
工具器具備品	19,785
減価償却累計額	△ 19,784
計	1
有形固定資産 (第三次運用)	
工具器具備品	53,031
減価償却累計額	△ 53,030
計	1
有形固定資産 (第四次運用)	
工具器具備品	88,949
減価償却累計額	△ 88,908
計	41
有形固定資産 (随時運用)	
工具器具備品	459,717
減価償却累計額	△458,577
計	1,140
無 形 固 定 資 産	
会議ソフトウェア	20,461
通信加入権	725
計	21,186
基 本 財 産 計	944,378
特定資産	
退職給付資金	211,000
特別修繕資金	19,050
2018年度計画整備資金	23,500
飲食施設改修準備資金	30,000
計	283,550
特 定 資 産 計	283,550
固定資産合計	1,227,928
資 産 合 計	1,743,432

(単位：千円)

科 目	2019年度予算
<b>Ⅱ. 負債の部</b>	
1. 流 動 負 債	
未払費用	83,600
前受金	81,000
一時預り金	11,000
職員預り金	10,068
短期リース負債	4,068
未払法人税等	8,000
未払消費税等	14,000
流動負債合計	211,736
2. 固 定 負 債	
保証預り金	60,600
長期リース負債	7,119
退職給付引当金	211,000
特別修繕引当金	19,050
固定負債合計	297,769
負債合計	509,505
<b>Ⅲ. 正味財産の部</b>	
1. 指 定 正 味 財 産	
基本財産	375,950
指定正味財産合計	375,950
2. 一 般 正 味 財 産	
基本財産	224,050
事業運営財産	344,378
2018年度計画整備準備金	23,500
飲食施設改修準備金	30,000
繰越金	236,049
一般正味財産合計	857,977
正味財産合計	1,233,927
負債及び正味財産合計	1,743,432

2019年12月31日予定

2. 2019年度 予定正味財産増減計算書内訳表(案)

2019年1月1日から2019年12月31日まで

(単位：千円)

科 目	公益事業				収益事業					法人会計	内部取引 消去	合 計
	公益1	公益2	共通	小計	収益1	収益2	収益3	共通	小計			
<b>I 一般正味財産増減の部</b>												
1. 経常増減の部												
(1) 経常収益												
① 使用料	1,147,000	0	0	1,147,000	403,000	53,000	15,000	0	471,000	0	0	1,618,000
会場使用料	1,147,000			1,147,000	403,000				403,000			1,550,000
飲食施設使用料				0		50,000			50,000			50,000
駐車場使用料				0			15,000		15,000			15,000
売店使用料				0		3,000			3,000			3,000
② 地下鉄連絡通路料				0			8,000		8,000			8,000
③ 自主企画事業料		20,000		20,000					0			20,000
④ 基本財産等運用益			9,000	9,000					0			9,000
⑤ その他収入				0		5,000			5,000			5,000
経常収益計	1,147,000	20,000	9,000	1,176,000	403,000	58,000	23,000	0	484,000	0	0	1,660,000
(2) 経常費用												
① 事業費	1,137,683	35,508	0	1,173,191	387,428	8,553	31,120	0	427,101	0	0	1,600,292
人件費	296,379	4,172		300,551	104,133	4,172	4,172		112,477			413,028
委託費	183,846	2,550		186,396	64,594	730	15,730		81,054			267,450
運営費	480,897	1,798		482,695	168,964	1,663	680		171,307			654,002
維持管理費	176,561	1,988		178,549	49,737	1,988	1,538		53,263			231,812
地下鉄連絡通路維持費				0			9,000		9,000			9,000
自主企画事業費		25,000		25,000					0			25,000
② 管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10,508	0	10,508
人件費				0					0	4,172		4,172
法人運営費				0					0	4,348		4,348
維持管理費				0					0	1,988		1,988
経常費用計	1,137,683	35,508	0	1,173,191	387,428	8,553	31,120	0	427,101	10,508	0	1,610,800
当期経常増減額	9,317	△ 15,508	9,000	2,809	15,572	49,447	△ 8,120	0	56,899	△ 10,508	0	49,200
2. 経常外収益												
(1) 経常外収益												
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用												
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	28,450	28,450	0	0	0	△ 38,958	△ 38,958	10,508	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	9,317	△ 15,508	37,450	31,259	15,572	49,447	△ 8,120	△ 38,958	17,941	0	0	49,200
法人税等								0	0			
当期一般正味財産増減額	9,317	△ 15,508	37,450	31,259	15,572	49,447	△ 8,120	△ 38,958	17,941	0	0	49,200
一般正味財産期首残高			808,777	808,777						0		808,777
一般正味財産期末残高	9,317	△ 15,508	846,227	840,036	15,572	49,447	△ 8,120	△ 38,958	17,941	0	0	857,977
<b>II 指定正味財産増減の部</b>												
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高			375,950	375,950								375,950
指定正味財産期末残高			375,950	375,950								375,950
<b>III 正味財産期末残高</b>	9,317	△ 15,508	1,222,177	1,215,986	15,572	49,447	△ 8,120	△ 38,958	17,941	0	0	1,233,927
	政府等による国際会議、学術会議等に関する事業	国際交流等に関する事業			公益目的事業に該当しない催事に関する事業	飲食・宿泊・売店等に関する事業	有料駐車場等に関する事業					

## 2019年度収支予算(案)

2019年1月1日から2019年12月31日まで

(単位：千円)

収 入 の 部			
科 目	当年度(2019年度)	前年度(2018年度)	増減
使用料	( 1,618,000 )	( 1,503,700 )	114,300
使用料収入	1,550,000	1,450,000	100,000
飲食宿泊施設使用料収入	50,000	41,000	9,000
駐車場収入	15,000	9,700	5,300
その他収入	3,000	3,000	0
利息収入	( 9,000 )	( 9,000 )	0
基本財産利子	8,900	8,900	0
受取利息	100	100	0
その他収入	( 5,000 )	( 3,000 )	2,000
地下鉄連絡通路収入	( 8,000 )	( 7,800 )	200
自主企画事業収入	( 20,000 )	( 17,300 )	2,700
合 計	1,660,000	1,540,800	119,200

2019年1月1日から2019年12月31日まで

(単位：千円)

支 出 の 部			
科 目	当年度(2019年度)	前年度(2018年度)	増減
人件費	( 417,200 )	( 416,200 )	1,000
職員給料	249,400	249,200	200
期末手当	80,500	80,400	100
退職金	23,000	22,600	400
通勤手当	9,100	9,000	100
法定福利費	53,200	53,100	100
福利厚生費	2,000	1,900	100
委託費	( 270,000 )	( 245,800 )	24,200
会場設営費	44,000	39,000	5,000
駐車場費	15,000	14,500	500
館内案内費	27,000	25,000	2,000
警備費	44,000	36,800	7,200
清掃費	52,000	50,700	1,300
電気機械保守費	73,000	64,100	8,900
派遣費・報酬等	15,000	15,700	▲ 700
運営費	( 655,800 )	( 690,800 )	▲ 35,000
電力使用料	68,000	54,100	13,900
ガス使用料	58,000	46,700	11,300
水道使用料	14,000	11,700	2,300
広報宣伝費	13,500	13,200	300
通信運搬費	6,300	6,200	100
運営用消耗品費	20,000	11,300	8,700
会場運営諸費	476,000	547,600	▲ 71,600
管理費	( 183,000 )	( 156,500 )	26,500
修繕保守費	40,000	30,000	10,000
庭園保守費	35,000	30,600	4,400
交際接待費	3,000	2,500	500
旅費	11,000	8,700	2,300
事務印刷費	19,000	15,100	3,900
保険料	4,000	3,000	1,000
会議行事費	1,000	600	400
諸会費分担金	5,000	4,500	500
諸費	2,000	1,500	500
減価償却費	63,000	60,000	3,000
地下鉄連絡通路費	( 9,000 )	( 8,600 )	400
自主企画事業費	( 25,000 )	( 22,900 )	2,100
当期収支差額	( 100,000 )	( 0 )	100,000
合 計	1,660,000	1,540,800	119,200